

であい道

お問い合わせ先：
横浜市道路局
国土交通省横浜国道事務所
首都高速道路計画・環境部

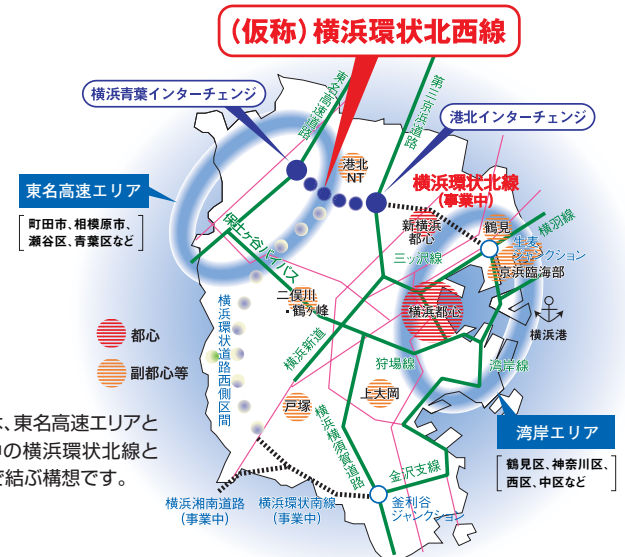
横浜市と国土交通省及び首都高速道路株式会社では、東名高速道路の横浜青葉インターチェンジと第三京浜道路の港北インターチェンジ間を結ぶ(仮称)横浜環状北西線の計画を検討しています。計画づくりにあたっては、初期の段階から、市民等のみなさまに情報を提供しつつ、広くご意見を聴き、それらを反映させていくPI(パブリック・インボルブメント)手法を導入しました。

平成17年8月には、市民等のみなさまからいただいたご意見等をふまえ、道路が通過するおおむねのルートや構造等を定めた「概略計画」を公表しました。

PI [パブリック・インボルブメント : Public Involvement]

PIとは、計画づくりの初期の段階から、関係する市民等のみなさまに情報を提供しつつ、広くご意見を聴き、それらを計画づくりに反映することです。

(仮称)横浜環状北西線は、東名高速エリアと湾岸エリアを現在事業中の横浜環状北線とともに、自動車専用道路で結ぶ構想です。



10月31日 第12回有識者委員会開催

これまでのPIの取り組みを総括

今後も引き続き、これまでの市民意見への適切な対応と、情報提供及び意見把握にきめ細かな対応を求める

10月31日、第12回「(仮称)横浜環状北西線」有識者委員会が開催されました。8月に「概略計画」がとりまとめられたことにより、有識者委員会の役割は終了することから、これまで実施してきたPI活動の取り組みについてコメント(右記参照)が示されました。



第12回有識者委員会

委員会からは、「今後、具体的なルート・構造等を検討する計画段階においては、こうした市民等からの意見に適切に対応するとともに、情報提供及び意見把握については、北西線の影響の可能性が考えられる地域に配慮し、できる限りきめ細かい対応を期待する」などのコメントをいただきました。

北西線のPIに対する有識者委員会からのコメント

1. 「(仮称)横浜環状北西線」有識者委員会(以下、「本委員会」)は、(仮称)横浜環状北西線(以下、「北西線」)の「概略計画」の立案において、手続きの透明性・客観性・公正さを確保し、公正中立な立場からPIプロセスについて助言、評価することを目的に設置された。
2. 平成15年7月から平成17年10月までの間、計12回本委員会を開催し、PI実施主体である横浜市、国土交通省及び首都高速道路株式会社(旧首都高速道路公団)に対し、PI手法や進め方等について、適宜助言・評価してきたところである。
3. このたび北西線の「概略計画」がとりまとめられ、本委員会の役割は終了することになるので、改めて北西線の構想段階におけるPIを振り返り、若干のコメントを加えることにする。

1) PIプロセスについて

北西線のPIは、まだルート・構造等が決まっていない「構想段階」という段階からスタートした。そのPIプロセスについては、次のようなさまざまな工夫がなされた。

- ① 計画づくりの初期の段階から計画検討の流れ(プロセス)を示したこと、また、検討の進捗状況を明確にしたこと。
- ② プロセスを多段階とし、かつ、途中でプロセスの見直しを行い、市民意見を把握する機会を多く設けるなど、より丁寧に実施するよう努めたこと。
- ③ 市民等の懸念やニーズの把握に努め、ルート・構造の代替案や比較検討の視点に反映したこと。たとえば、市民等からの意見を聴くための素材としての「たたき台案」を公表し、市民から提案のあった案を含めて比較検討した結果、「概略計画」のルート・構造が「たたき台トンネル延長案」となったように、柔軟性を有するプロセスであったこと。
- ④ 段階ごとに、意見の要旨と意見例をとりまとめた冊子「みなさまの声」を配布するとともに、全意見をホームページで公表したこと。

このようなさまざまな試みに満ちた北西線のプロセスは、これまでになく先進的な事例になったと考える。

2) PI手法について

PI手法の面では、オープンハウスの開催や、広報紙の横浜市全域への各戸配布、パンフレットの配布、ホームページの開設、ポスター掲示、チラシの配布、中吊り広告の掲示等、多様な手段を用いて、市民等が求める情報をわかりやすく提供するなど、幅広く周知が図られたと考える。

また、プロセスの段階に応じ、広域の市民等を対象としたオープンハウスや、直接影響の可能性のある北西線周辺の市民を対象とした「地域住民からご意見を聴く会」、「周辺自治会・町内会との会合」を開催し、直接意見を聴く場を設けるとともに、常時、電話、FAXやWeb等でも意見を聴いた。なお、「概略計画」の案の段階では、市民等から積極的に意見が出るように期限を設けた文書による「意見募集」も行った。これにより、多数かつ多様な意見を把握したと考える。

3) 計画段階の進め方について

「構想段階」とは、おおむねのルート・構造の検討段階であって、計画の精度が十分に詳しいものには至っていないため、提供できる情報が限られている。このような条件下で、市民等への情報については、現段階で分かっている情報を客観的かつ公正に提供したと考えるが、これまでに市民から提出された意見を見ると、「概略計画」に示されたおおむねのルートの周辺市民の意見の中には、北西線に対して、環境への影響などの面において懸念を抱いているものがある。

今後、北西線の具体的なルート・構造等を検討する「計画段階」においては、こうした市民等からの意見に適切に対応するとともに、情報提供及び意見把握については、北西線の影響の可能性が考えられる地域に配慮し、できる限りきめ細かい対応に努めることを期待する。

4) 終わりに

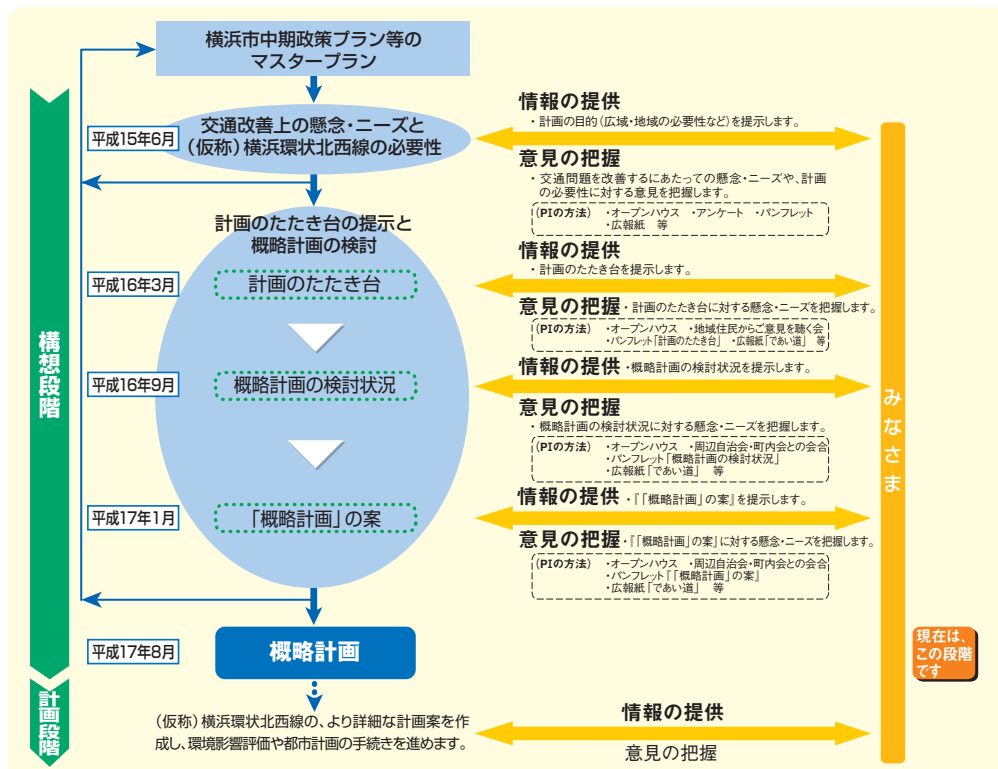
本委員会としては、今回のPI実施主体であった関係行政機関等が、北西線で実施した構想段階のPIの経験を、今後も最大限に活用していくことを心より期待している。

「(仮称)横浜環状北西線」有識者委員会は、「(仮称)横浜環状北西線」の概略計画の立案において、手続きの透明性・客観性・公正さを確保し、公正・中立な立場からPIプロセスについて助言・評価することを目的に設立されました。平成15年7月30日から平成17年10月31日まで計12回、一般公開で開催されました。

委員会メンバー

- 委員長** いそべ つとむ 磯部 力氏(立教大学 法学部 教授)
- 委員** しょうじ すみえ 昌子 住江氏(関東学院大学 工学部 教授)
- たかい かえこ 高井 佳江子氏(弁護士)
- ふじの つくお 藤野 次雄氏(横浜市立大学 国際総合科学部 教授)
- やい てつお 屋井 鉄雄氏(東京工業大学 総合理工学研究科 教授)

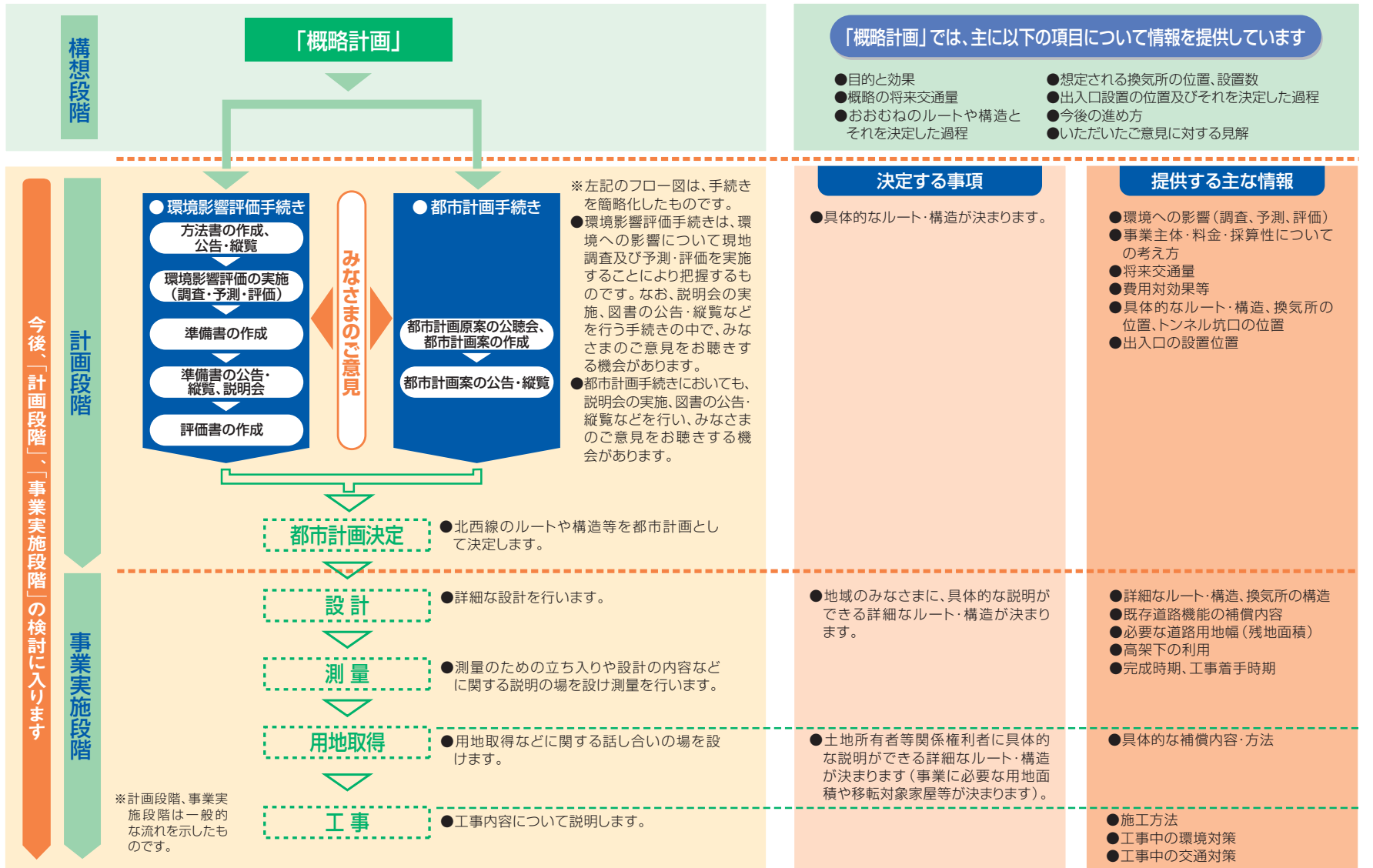
計画検討の流れ



現在は、この段階です

(仮称) 横浜環状北西線 今後の進め方

(仮称) 横浜環状北西線は、今後「計画段階」に進みます。今後の進め方は、以下のプロセスを想定しています。



クリスマス。きらきら

(仮称) 横浜環状北西線周辺の地域に関する情報



クリスマス飾りで彩られたよこはま動物園ズーラシアでは、12月23日～25日にかけて「クリスマス in ズーラシア」を開催

街が光輝くイルミネーションで演出され、華やいできました。今年のクリスマスは休日と重なり、楽しいひとときに期待がふくらみます。約120年前、日本初のクリスマスツリーが登場したといわれる横浜では世界のクリスマスを体験できるほか、市内のあちこちでイベントが開催されます。

- 特典**
- ①介護を必要とする65歳以上の方、「身体障害者手帳」「愛の手帳(療育手帳)」「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方と介護者(被介護者1人につき2人)は入園料無料
 - ②土曜は小・中・高校生は入園料無料
 - ③6歳未満は、保護者1人につき1人無料
 - ④障害者手帳をお持ちの方と介護者(1人)は300円。65歳以上(要証明)は300円



クリスマス装飾は12月25日まで
24日はマスコットによるコンサート

よこはま動物園ズーラシア **特典(1/2)**

旭区上白根町1175-1
TEL.045-959-1000
[開園]午前9時30分～午後4時30分(入園は午後4時まで) [入園料]大人600円、高校生300円、小・中学生200円[休園日]火曜(祝日の場合は翌日休み)、12月29日～1月1日
園相模鉄道鶴ヶ峰駅から市営バス5系統(または相鉄バス旭10系統)あるいはJR中山駅から市営バス136系統(または相鉄バス旭13系統)よこはま動物園下車すぐ

夜景やイルミネーションが楽しめる人気スポット
サンクスキャンドルは12月23日～25日

横浜ベイブリッジ スカイウォーク **特典(3/4)**

鶴見区大黒ふ頭1
TEL.045-506-0500
[開館] 午前10時～午後6時(12月23日～25日は午後8時まで) ※入館は30分前まで[入館料]大人600円、中学生以下300円[休館日]火・水曜(祝日の場合は翌日休み) ※12月23日～1月6日は無休(12月31日は午後3時まで、1月1日は午前6時～正午まで)
園JR鶴見駅(京浜急行京急鶴見駅または生麦駅)から市営バス17系統あるいはJR・市営地下鉄桜木町駅から市営バス109系統スカイウォーク前下車すぐ

9カ国のクリスマスを再現
関連イベントも楽しみ

山手西洋館 世界のクリスマス2005

中区山手町72 ほか
TEL. 045-663-5685 (ペーリック・ホール)
[開館] 午前9時30分～午後5時 [入館料]無料
[休館日]各館により異なる(クリスマス期間中は休館日なし) ※岩崎ミュージアムのみ午前9時40分～午後6時、大人300円、小・中学生100円、月曜休み
園みなとみらい線元町・中華街駅あるいはJR石川町駅から徒歩

今年は山手西洋館公開7館と2つの施設で、各国の特色あるツリーやイルミネーション、室内装飾、テーブルコーディネートなどが楽しめます。12月25日まで

- ◆山手西洋館 山手111番館～スウェーデン イギリス館～イギリス 山手234番館～アメリカ エリスマン邸～チェコ ペーリック・ホール～ノルウェー 外交官の家～カナダ プラフ18番館～スイス
- ◆山手68番館～フランス
- ◆岩崎ミュージアム～日本

(仮称) 横浜環状北西線の広報紙「であい道」は、PIの一環としてみなさまに配布しています。

▼ 問い合わせは下記までお寄せください。▼

<p>横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL:045-671-2735 FAX:045-662-3945</p>	<p>国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査第一課 〒221-0855 横浜市新神川区三ツ沢西町13-2 専用フリーダイヤル:0120-875-805 (FAX兼用)</p>	<p>首都高速道路株式会社 計画・環境部 計画調整グループ 〒100-8930 東京都千代田区霞が関1-4-1 TEL:03-3539-9389 FAX:03-3502-2412</p>
---	--	---

「(仮称) 横浜環状北西線」ホームページ : <http://www.yokohama-nwline.jp/> 電子メール : yokokoku-nwline@ktr.mlit.go.jp

横浜市広報印刷物登録第170063号 (G-JE121)